

結城青年会議所がトルコキキョウをプレゼント 花言葉の「希望」を添えて

結城青年会議所（富田昌宏理事長）は10月28日、達生堂グループの城西病院と福祉施設にトルコキキョウの花360本をプレゼントしました。新型コロナウイルスで混乱が続く中、花を楽しんでもらいたいと、花言葉の「希望」や「すがすがしい美しさ」、「思いやり」などの気持ちを込めて、贈っていただきました。

同会議所は、結城市が取り組んでいる「花で結城をSmile Up! 花いっぱい応援事業」に賛同し、会員の花農家からトルコキキョウを仕入れ、今回、市内の小学1年から3年の全児童約1300人にトルコキキョウを贈ったほか、医療・福祉関係者にと、城西病院グループに寄贈しました。「コロナ禍で冠婚葬祭などがなくなり、花に触れることが少なくなった。結城市で花いっぱい応援事業に取り組んでいるが、あまり浸透していない。子供たちや病院、施設に贈って、それぞれが花を楽しみ、花に関心を持ってもらいたい」と富田理事長は話していました。

通所リハビリセンター「茶釜の湯」では、会員11人が利用者に直接プレゼント。利用者は思わぬプレゼントに「こんなに素晴らしいお花をありがとう」と笑みを浮かべていました。 2020年10月29日

